

第二十五回 日本と世界のみたま祭り ご案内

令和という新しい時代が始まりました。

日垣宮主

大正十二年十二月に生まれ、激動の昭和では戦争を経験し、命がらから帰国して志した神道の道に進むこと六十年。

平成という争いのない平和な時代になり、世界中を巡り地球まつりの旅を展開して書き上げた古事記真伝への文および真伝への息吹き全十六巻。

祭祀にその身を捧げて体が自由に動かなくなろうとも、最愛のパートナーを失い悲しみの極致にあらうとも、命ある限り祭祀を続けて迎えた四つ目の時代、『令和』。

九十六歳という高齢にもかかわらず、力を振り絞り歩み続け迎えたこの令和元年六月に、いままでの総仕上げとも言うべき『第二十五回 日本と世界のみたま祭り』を開催することとなりました。

美しく平和な時代となることを切に願ひ、ここに日垣齋庭一同そろって、心から新しい時代をお迎えしたいと思います。

共に祈りを捧げましょう。

地球新生の祀りを、大和民族弥栄の祈りを。

届け、神々の世界へ！

皆さまのご賛同・ご参加をお待ちしております。

令和元年五月吉日

神道日垣の庭

日本と世界のみたま祭りの会